

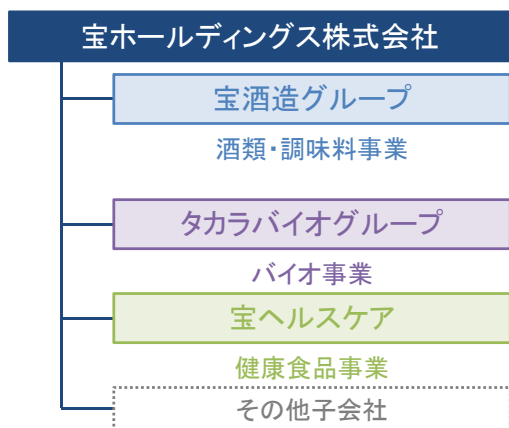
宝ホールディングス株式会社



2015年2月

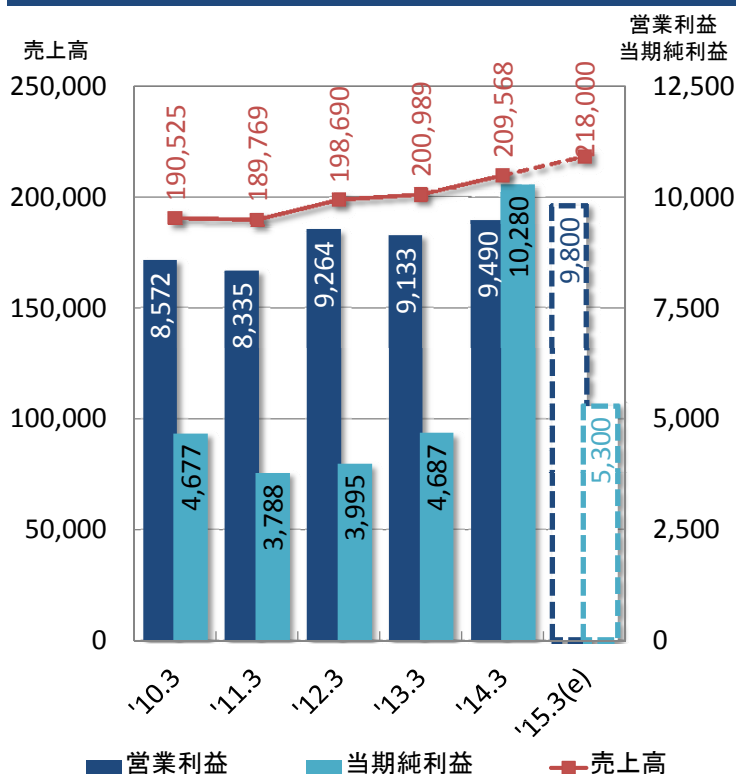
宝ホールディングス(株)について

- 設立: 1925年
- 上場市場: 東証1部
(証券コード: 2531)
- 本社: 京都
- 社長: 柿本 敏男
- 時価総額: 1,708億円
(2015年2月4日現在)
- EBITDA: 144億円
(2014年3月期)



◆ 6年間の業績推移

(百万円)

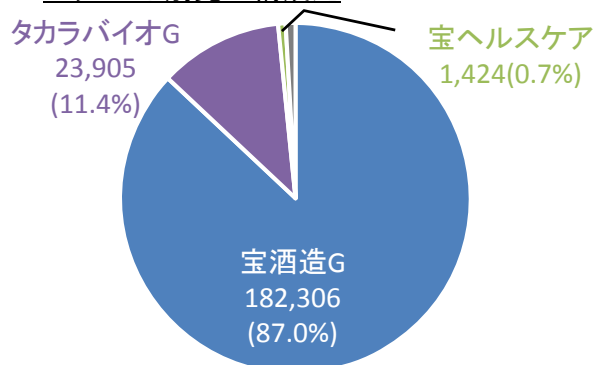


業績 (2014年3月期)

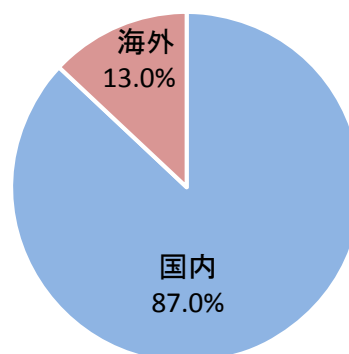
◆ 連結売上高: 209,568百万円

(百万円)

➤ セグメント別売上構成比



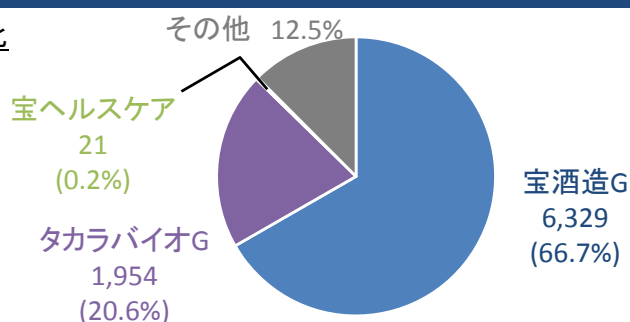
➤ 地域別売上構成比



◆ 連結営業利益: 9,490百万円

(百万円)

➤ セグメント別営業利益構成比



FAQ

<FAQ1> なぜ酒類事業とバイオ事業とをやっているのか？

- ①歴史的背景・・・ビール事業からの撤退→酒類事業以外の新規事業への参入
- ②技術的基盤・・・発酵技術→微生物を扱う技術

<FAQ2> 酒類事業とバイオ事業との間にシナジーはあるのか？

- ①技術面においてはシナジーはない
- ②健康食品事業ではシナジーはある

<FAQ3> なぜタカラバイオを上場させたのか？

- ①遺伝子・細胞医療というハイリスクの事業への参入
- ②分社・上場による業績・財務面での規律づけ

<FAQ4> 宝HLDの株式保有割合は今後どうなる？

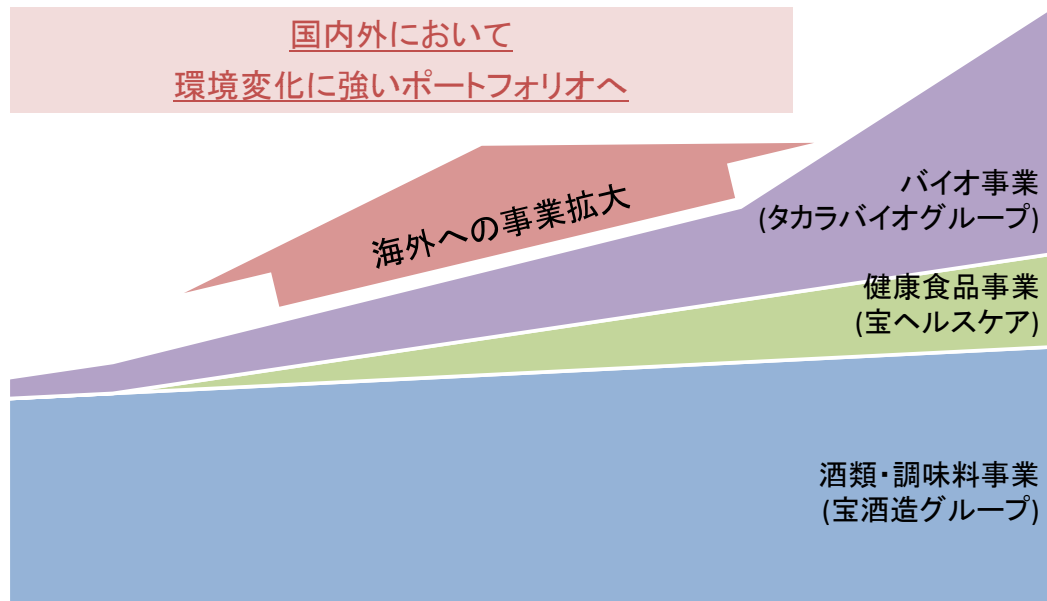
- ①当面は現在の保有割合を維持(連結子会社の位置づけを維持)
- ②今後のタカラバイオが公募増資する場合においても50%以上を維持する方針

長期経営ビジョン

◆ TaKaRaグループ・ビジョン2020 (2011年4月より10年間)

経営目標

国内外の強みを活かせる市場で事業を伸ばし、
環境変化に強いバランスのとれた事業構造を確立する。

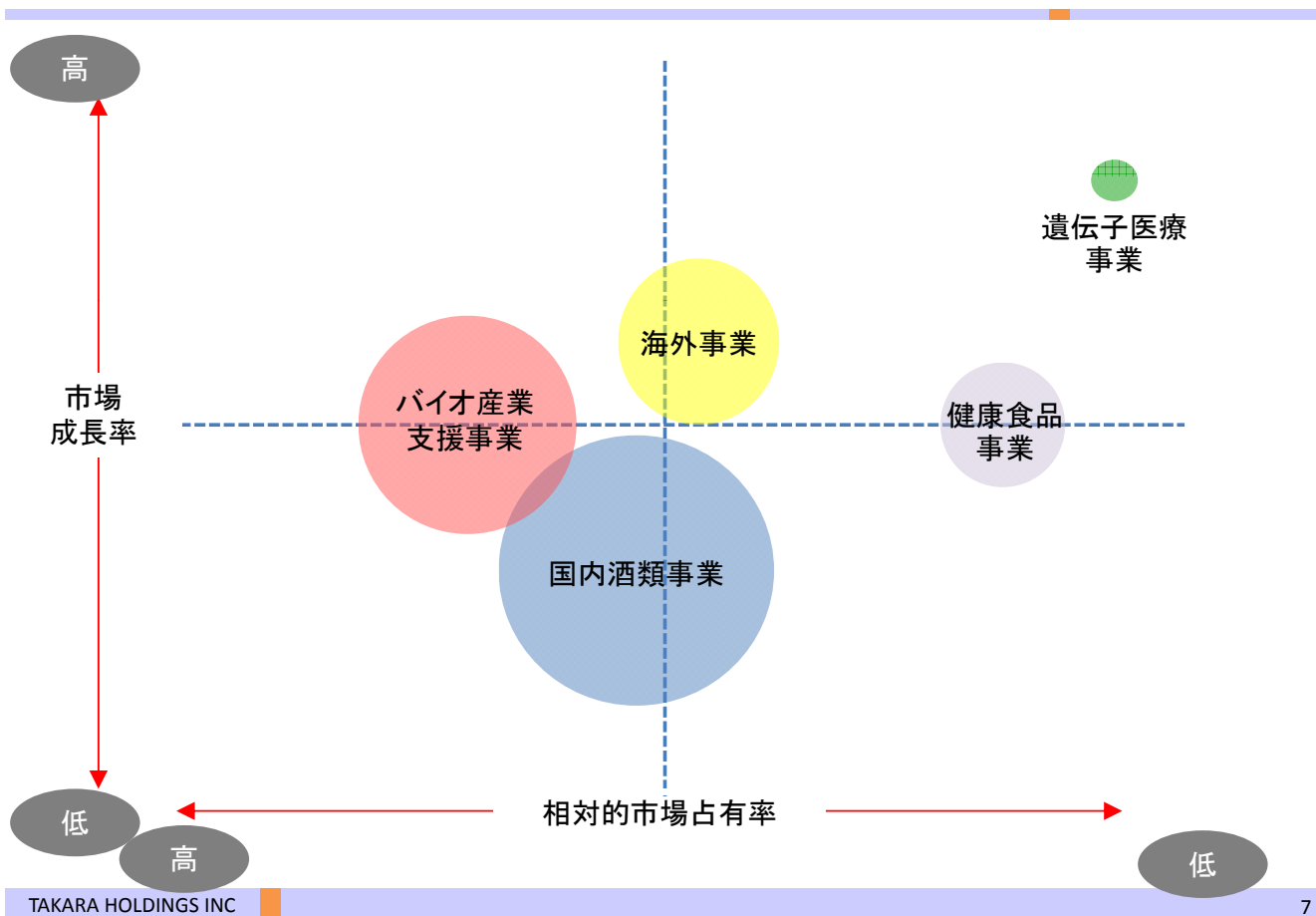


安定収益基盤と成長事業を有する独自の強固な事業ポートフォリオ

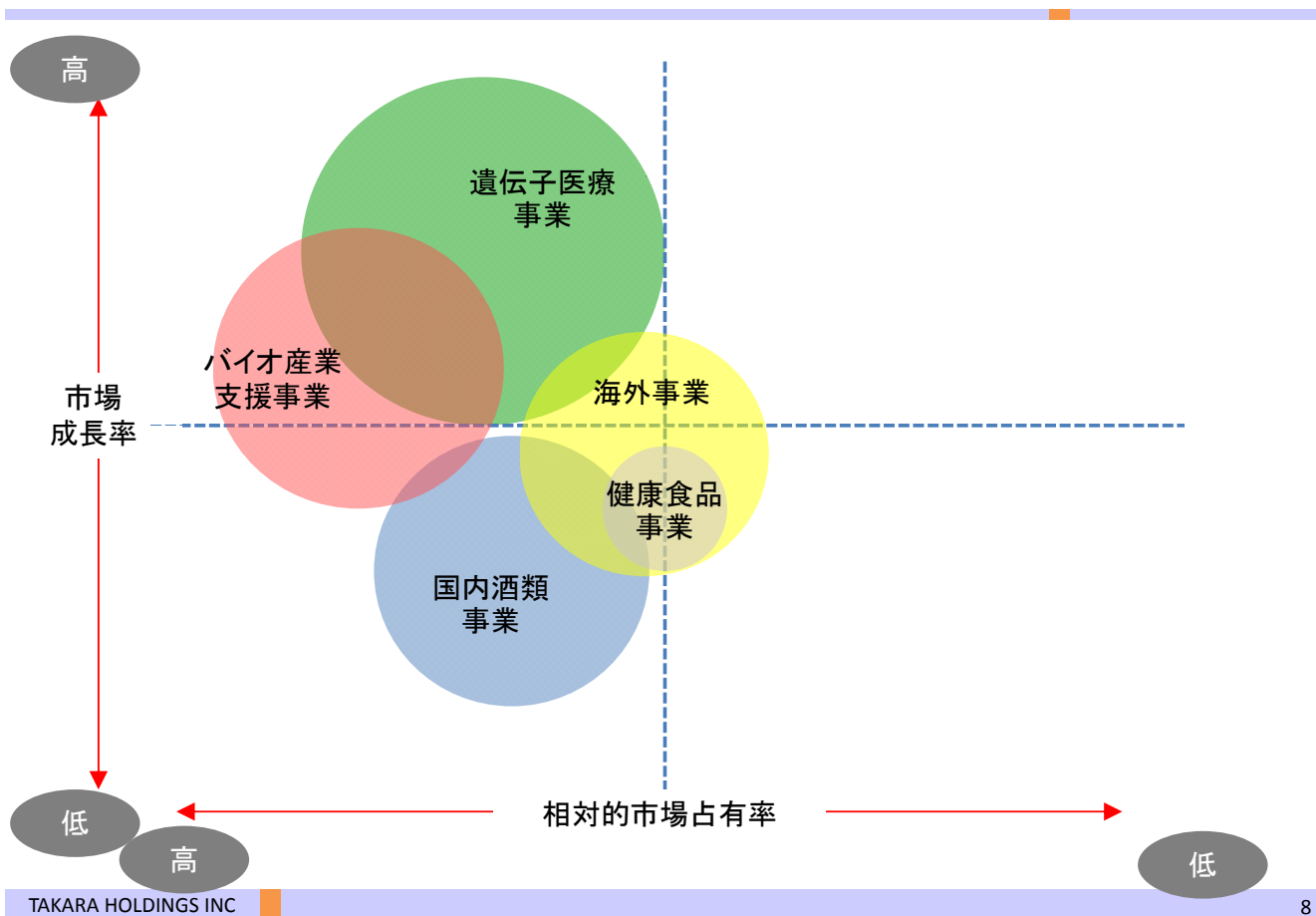
TaKaRaグループの事業ポートフォリオ

	当社の特長	市場環境
国内酒類事業	各カテゴリにおいて高いシェア、強いブランドを持っている。技術力により差異化された独自の新品開発が強み。	少子高齢化、人口減少により市場は今後も縮小。酒類の各カテゴリにおいて各メーカーの新品開発競争によってシェアを奪い合う市場。
海外事業 (海外酒類事業・海外日本食材卸事業)	欧米における日本食材卸網の拡大により成長をめざす。アジア、オセアニア市場へもM&Aにより参入を目指す。	世界的な“和食”の広がりとともに市場の成長が見込まれる。
バイオ産業支援事業	研究用試薬は国内で強いブランド力を持つ。成長市場は中国、欧州・米国。今後は再生医療関連のCDMO事業が成長のドライバー。	再生医療関連法案の整備により、外資の参入も含め研究開発が活発となり市場の拡大が見込まれる。
遺伝子医療事業	がんやエイズなどの遺伝子治療やがん免疫療法などの細胞医療の開発を進め商業化を目指す。	iPS細胞を使った再生医療も含め、遺伝子・細胞医療の市場は拡大が見込まれる。
健康食品事業	古くから体に良いとされる日本各地の伝統食材に着目し、タカラバイオの技術でその機能性を解明し、通信販売を中心に事業を展開	人口高齢化の進展や健康への関心の高まりを背景に、市場の堅調な推移を予測する一方で、通信販売を中心に新規参入企業が続く、競合が激化。

現在の事業ポートフォリオ



将来の事業ポートフォリオ



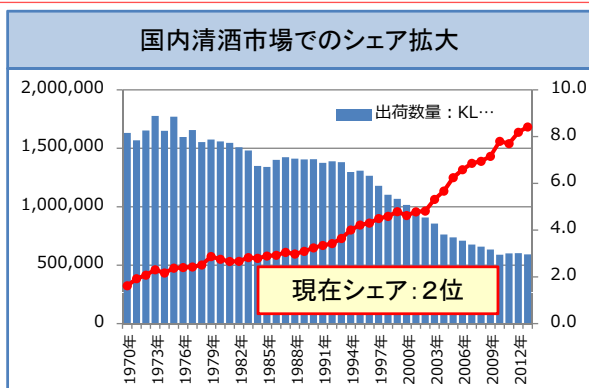
事業戦略

- (1) 国内酒類事業
- (2) 海外事業
(海外酒類事業・海外日本食材卸事業)
- (3) バイオ産業支援事業
- (4) 遺伝子医療事業
- (5) 健康食品事業

(1) 国内酒類事業

◆ 基本方針

国内、そして世界で、清酒の売上高を拡大する



スパークリング清酒という新たな市場の創出



Sparkling sake
Sho-Chiku-Bai
Shirakabegura
Mio

機能性を持った清酒製品の開発

松竹梅「天」糖質70%オフ 松竹梅<糖質ゼロ>



(2015.3~)

世界での清酒売上高拡大



(2) 海外事業

◆ 基本方針

海外日本食材卸事業
<ul style="list-style-type: none"> ● 欧米をはじめとする世界での日本食材卸網構築 ● アジア・オセアニアでのパートナー獲得に向けた積極的投資

海外酒類事業
<ul style="list-style-type: none"> ● 海外和酒カテゴリーでのシェア拡大 ● 清酒を中心とした日本食レストランや量販チャンネルの拡大・深耕

両事業のシナジー

酒類メーカーの技術・商品開発力 + 食材卸会社の提案・販売力

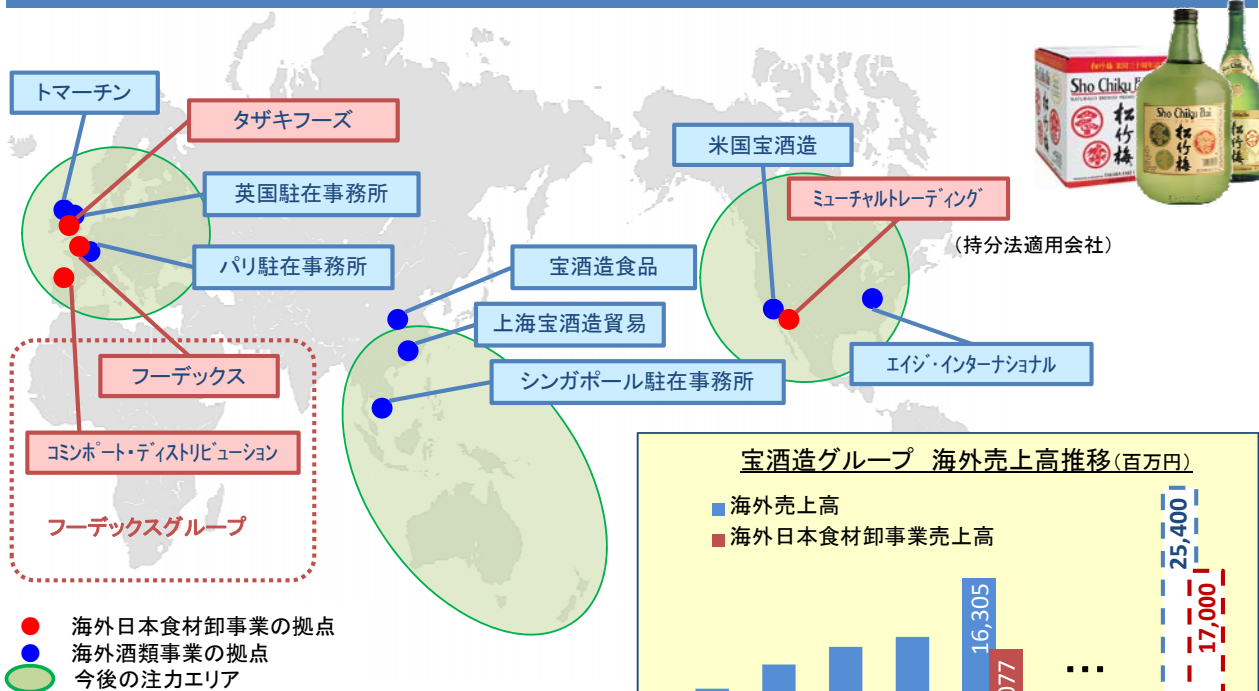
日本食市場の広がりを背景に、海外事業成長スピードを加速させる

● 近年の活動内容

時期	内容	目的
2010年4月	フーデックス(仏国)の株式を取得	海外日本食材卸事業への参入
2012年10月	シンガポール駐在事務所を開設	東南アジア・オセアニア市場の開拓強化
2012年11月	英国駐在事務所がロンドンで稼働	欧州市場の開拓強化
2012年11月	日本食材卸会社ミューチャルトレーディング(米国)の第三者割当増資を引受け	北米でのパートナーシップを強化 * 議決権所有割合: 24.2% → 45.0%
2013年9月	タザキフーズ(英国)の経営権を取得	海外日本食材卸事業の拡大
2014年3月	コミンポート・ディストリビューション(スペイン)の経営権を取得	海外日本食材卸事業の拡大



(2) 海外事業

◆ 宝酒造グループの海外拠点



(2) 海外事業

◆ 海外日本食材卸事業を展開する子会社

Poignée
Pâte facile
Moins de grains de riz
Moins de grains cassés
Ne prend pas l'humidité
Hygiénique
Conditionnement : un paquet par carton


SHINJUMAI
伊勢米
Grains courts d'épale,
Savoureux, moelleux, excellent
rapport qualité / prix, le
meilleur pour vos sushis.



Riz secou-vidé
Code 202048
10 KG
Prix € 14,20

Marque reconnue
SHINJUMAI
真珠米クワア米
Savoureux, agréable, excellent rapport
qualité / prix.


Produit Européen
Grains courts d'épale.


Forme cubique
Facile à stocker, empiler



GOOD FOOD MADE JAPAN-EASY™





MUTUAL TRADING Co., INC.
Bringing the Flavors of Japan to the People of the World
Japanese Foodservice Trade Pioneer & Global Trendsetter

(3) バイオ産業支援事業

◆ Advantages of our Bioindustry Business

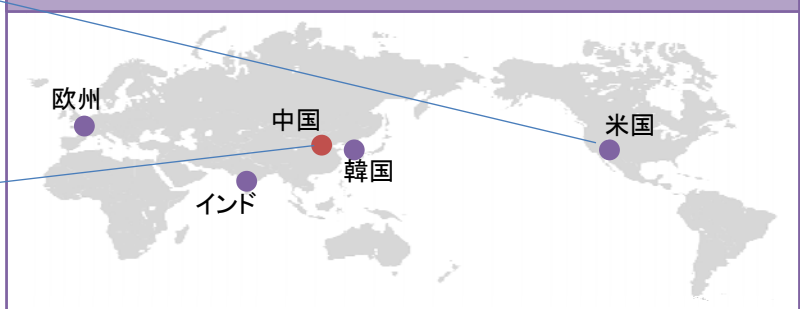
研究用試薬の
豊富なラインナップ

2005年に米国BD社から
クロンテック事業を買収

価格競争力の高い
研究用試薬

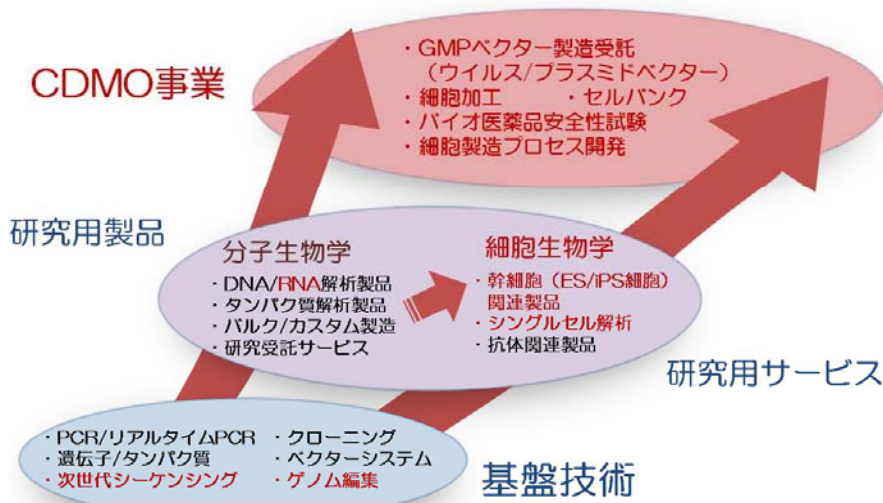
大半の研究用試薬を
中国の大連で製造

世界の販売網

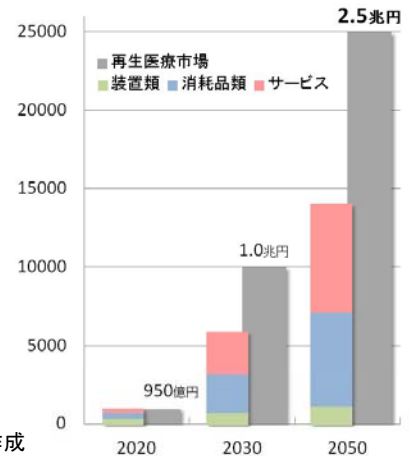


(3) バイオ産業支援事業

◆ CDMO 事業の展開



遺伝子・細胞プロセッシングセンター



<再生医療と周辺産業の国内市場規模予測>

<データ出所> 経済産業省「再生医療の実用化・産業化に関する報告書」より作成

(3) バイオ産業支援事業

◆ 日本政府の方針

日本政府は再生・細胞医療の普及のため、施策の推進や制度面の改正を進めている

- 再生医療推進法(再生医療を国民が迅速かつ安全に受けられるようにするための施策の総合的な推進に関する法律)
⇒ 2013年5月10日より施行
- 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(改正薬事法)、再生医療等の安全性の確保等に関する法律
⇒ 2014年11月25日より施行

期待される内容

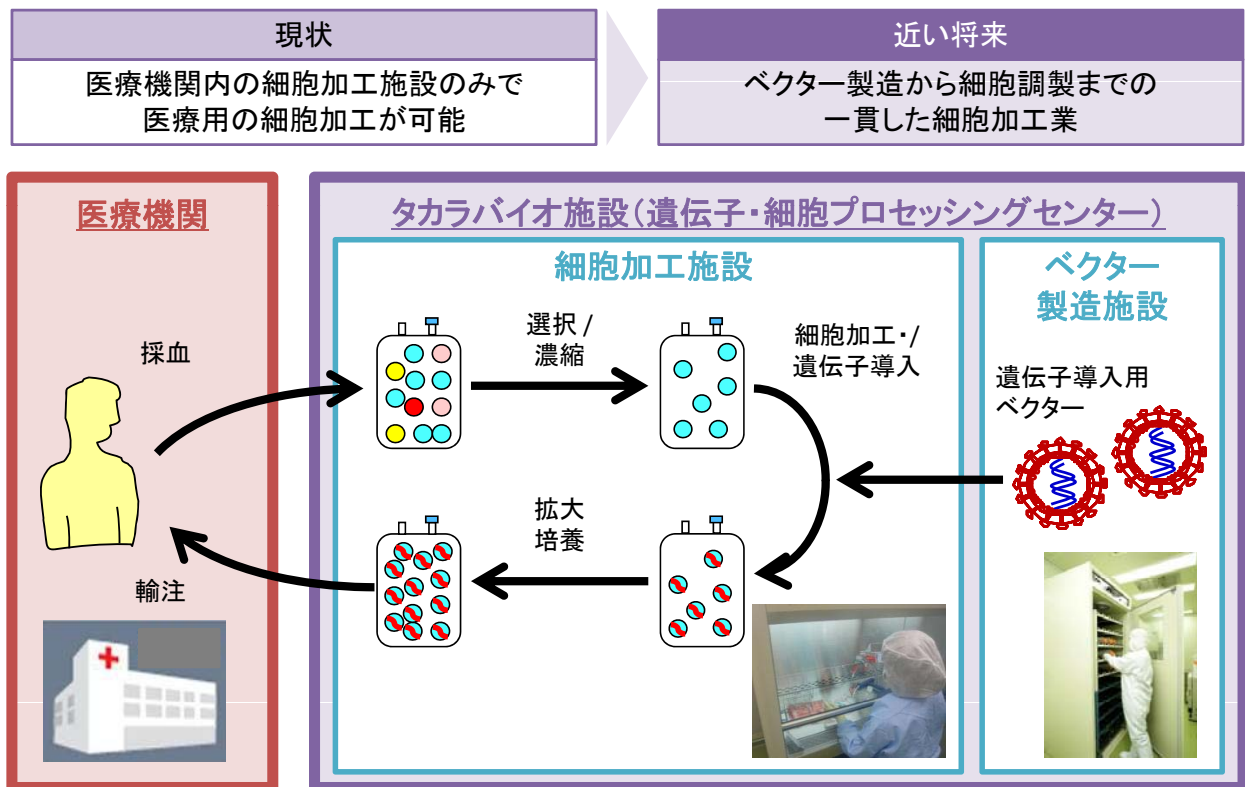
- 再生・細胞医療分野の研究開発の活発化
- 細胞加工の外部委託の実現
- 先端医療のリスクに応じた安全性担保の仕組みの制度化
- 新薬の早期承認制度の実現

タカラバイオグループへの影響

- 基礎研究や臨床研究分野における製品の拡販
- GMP製造受託、細胞加工受託、ゲノム解析受託などのCDMO事業の拡大
- 遺伝子治療の商業化までの期間短縮

(3) バイオ産業支援事業

◆ 細胞加工外部委託のビジネスモデル



(4) 遺伝子医療事業

◆ 遺伝子治療とは

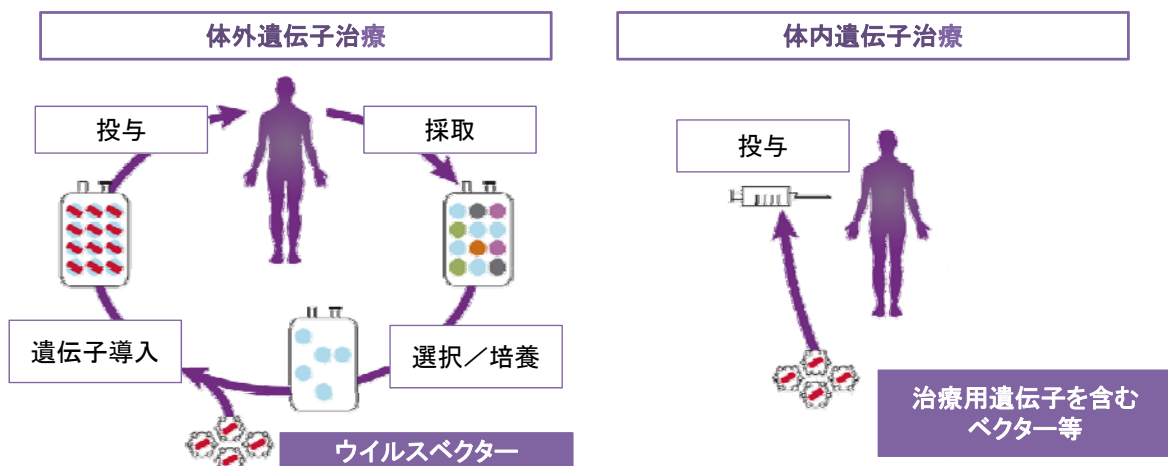
遺伝子治療とは、生まれつき欠いている遺伝子や、病気を治すために役立つ遺伝子、あるいはこれらの遺伝子を組み込んだ細胞を、患者の体に投与することで疾患を治療する方法です。

◆ タカラバイオの技術

タカラバイオが米国のインディアナ大学と共同開発したレトロネクテン法は、体外遺伝子治療における遺伝子導入法のスタンダードになっており、世界で60を超える遺伝子治療の臨床開発に採用されています。

◆ 遺伝子治療プロトコル

遺伝子治療は、体外遺伝子治療と体内遺伝子治療に大別されます。体外遺伝子治療とは、ヒトの細胞を取り出して、体外でその細胞に目的の遺伝子を導入し、その細胞を患者に投与する方法です。一方の体内遺伝子治療は、生体に治療用遺伝子を直接投与する方法です。



(4) 遺伝子医療事業

◆ 遺伝子医療の臨床開発スケジュール

治療法	対象疾患	地域	現状と今後のスケジュール	商業化
がん治療薬HF10	悪性黒色腫 (メラノーマ)	米国	第Ⅱ相臨床試験 (2017年3月期 終了予定)	2019年3月期
	固形がん	日本	第Ⅰ相臨床試験 (2017年3月期 終了予定)	2019年3月期
MAGE-A4・ TCR遺伝子治療	食道がん	日本	第Ⅰ相臨床試験(医師主導治験) (2016年3月期 終了予定)	2022年3月期
MazF遺伝子治療	HIV	米国	第Ⅰ相臨床試験 (2016年3月期 終了予定)	2023年3月期
NY-ESO-1・ TCR遺伝子治療	固形がん	日本	第Ⅰ相臨床試験(医師主導治験) (2018年3月期 終了予定)	2022年3月期

(4) 遺伝子医療事業

◆ TOPICS

2015/01/21 タカラバイオが腫瘍溶解性ウイルスHF10の国内第Ⅰ相臨床試験治験計画届を提出

ポイント①
日本での治験をスタート

- 米国ではHF10の悪性黒色腫を対象とした第Ⅱ相臨床試験を実施中
- 国内の皮膚がん患者らを対象に国立がん研究センター(東京)で実施

ポイント②
新制度の活用

- 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(改正薬事法)において再生医療等製品に適用される制度(条件及び期限付承認制度)などを活用してHF10の早期承認を目指す

米国とともに、2019年3月期の商業化を目指す

(5) 健康食品事業

酒類事業とバイオ事業のシナジー

＜宝酒造＞
マーケティング力

＜タカラバイオ＞
研究開発力

＜宝ヘルスケア＞
健康食品事業

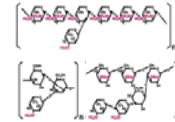


◆ タカラバイオの研究成果

ガゴメ昆布



「フコイダン」



明日葉



「カルコン」



その他

財務方針

◆ 財務方針 (TaKaRaグループ中期経営計画2016)

健全な財務体質を維持しながら、資本効率を意識し、利益成長のための重点戦略への積極的な投資と、適切な株主還元を実施する

利益成長のための積極的投資

◆健全な財務体質を維持しながら、利益成長のための投資を積極的に行う

国内酒類設備(「澁」増産)

海外M&A(日本食材卸拡大)

バイオ設備(CDMO事業強化)

バイオ研究開発(臨床開発プロジェクト)

資本効率を意識した適切な株主還元

◆連結営業利益の水準に応じて増配を実施し、みなし配当性向*30%を目安に配当を行う

◆自己株式取得についても、状況に応じて機動的な実施を検討する

$$*みなし配当性向 = \frac{\text{配当総額}}{\text{連結営業利益} \times (1 - \text{法定実効税率})} \approx 30\%$$

積極的な投資による利益成長と自己資本のコントロールにより、ROEの向上を目指す

その他の話題

◆ その他の話題

- 為替
- 日本の法規制: 酒税、消費税 等
- 原材料価格: 粗留アルコール 等
- バリュエーション: 親子時価総額の関係
- 上場市場の選択: タカラバイオ マザーズ上場10年

将来見通しに関する注意事項

資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能
な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含
んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の
業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき
ください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法
律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製
品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大
な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定され
るものではありません。

<お問合せ>

宝ホールディングス株式会社 IR室

Tel. 075-241-5124

E-Mail ir@takara.co.jp